

アミノインデックスを用いた

プレがん検診の実績 (第1報)

西伯病院では、南部町と鳥取県のご協力により血中アミノ酸の変動を解析し、がん発生の危険性を知る日本初のアミノインデックス検診を本年1月10日から開始し、今回3月末までに採血させていただいた242名の結果が判明致しましたので、第1報として報告させていただきます。



南部町での傾向

平成23年度に検査を実施した242名(男性116名、女性126名)の年齢構成は40歳代・19名、50歳代・48名、60歳代・102名、70歳代・62名、80歳代以上・11名と、60歳代の方が最も多くみられました。

アミノインデックスは、がん発生の危険性が低い『ランクA』、通常の『ランクB』、通常の約10倍も高いがん発生の危険性のある『ランクC』に分類し判定されましたが、年齢が高くなるにつれて『ランクC』の頻度が高くなる傾向にありました。(表3)これはヒトのがんの発生が40代頃から加齢とともに急速に上昇する現状と、よく一致していました。

また、がん種別の『ランクC』の頻度は、胃癌・15%、肺癌・11%、大腸癌・5%、前立腺癌・11%、乳癌・8%と胃癌、肺癌に高率で、大腸癌に低率であり、南部町では肺癌、胃癌で亡くなる方が多く、大腸癌で亡くなる方が少ない現状とよく一致していました。

このことは、南部町の方には肺癌、胃癌になりやすい傾向があり、検診においても特に注



南部町国民健康保険西伯病院
院長 木村 修

意すべきがんであると考えております。

■南部町のがん死亡原因 (平成17年～21年) (表1)

| がん種別 | | 男 | 女 | 計 |
|---------|-----|------|-----|---------|
| 消化器がん | | 62人 | 46人 | 108人 |
| 消化器がん種別 | 食道 | 4人 | 3人 | 7人 |
| | 胃 | 20人 | 12人 | 32人(2位) |
| | 大腸 | 10人 | 8人 | 18人(4位) |
| | 肝 | 5人 | 5人 | 10人 |
| | 膵臓 | 11人 | 11人 | 22人(3位) |
| | その他 | 12人 | 7人 | 19人 |
| 肺がん | | 31人 | 11人 | 42人(1位) |
| 血液がん | | 10人 | 4人 | 14人(5位) |
| その他 | | 28人 | 28人 | 56人 |
| 合計 | | 131人 | 89人 | 220人 |

